

【総領事館からのお知らせ：安全対策情報：5月】

平成29年5月10日（総17第07号）

在デンパサール日本国総領事館

1 治安情勢

今年は5月27日（土）頃から6月24日（土）頃までイスラム暦のラマダン（断食月）に入る予定です（正式には宗教省が決定・発表）。

ラマダン期間中は、日頃にも増してテロへの警戒を怠らないようにしてください。現時点において、具体的なテロ情報に接している訳ではありませんが、特にテロの標的となりやすい場所（宗教関連施設（寺院、教会）、デパートや市場など不特定多数の人が集まる場所、公共交通機関、ホテルなどの宿泊施設、ビーチ等のリゾート施設・観光施設、政府・軍・警察関連施設、欧米関連施設等）やその周辺を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら速やかにその場を離れるなど自らの安全確保に努めてください。

2 一般情勢

（1）ラマダン（断食月）、レバラン（断食明け大祭）

イスラム教徒にとり神聖なラマダン期間中は、平素以上にイスラム教徒の習慣に配慮し、周りの人の感情を害さないよう自らの言動に十分注意することが必要です。なお、レバラン（断食明け大祭）の祝日には、帰省する人も多く、多数の人々が国内外を移動するため、交通機関等の混雑が見込まれます。また、この時期は一般犯罪も増加する傾向にありますので、安全対策を怠らないことが肝要です。

（2）デング熱

バリ島内におけるデング熱罹患者は依然多数発生しており、流行が継続しているため引き続き注意が必要です。

デング熱は通常、急激な発熱で発症し、発疹、頭痛、骨関節痛などの症状が見られますが、デング熱患者の一部はまれに重症化してデング出血熱やデングショック症候群を発症し、早期に適切な治療が行われなければ死に至ることもあります。

デング熱には予防接種も予防薬もなく、蚊に刺されないようにすることが最善の予防方法ですので、防蚊対策を徹底し感染の予防に努めてください。なお、仮にデング熱が疑われる症状が発生した場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けるようにしてください。

（3）麻薬・薬物への注意

最近、当地報道では連日、麻薬・薬物関連の逮捕事案（インドネシア人、外国人を問わず）が報じられており、インドネシア当局が薬物違反事件の摘発に力を入れていることがうかがわれ、外国人に対しても死刑を含む重い判決を下すなど、薬物犯罪に対し厳しい姿勢で臨んでいます。麻薬・薬物には絶対に関与しないようにしてください。また、薬物が蔓延しているような危険な場所には近寄らないことをお奨めします。

3 邦人事件・事故関係

(1) スリ・ひったくり

今月は、邦人が被害に遭う大きな事件・事故は、当館に報告されていませんが、引き続き、外国人が繁華街における話しかけ・集団スリ（強盗）や、オートバイによるひったくりに遭う事案が多数報告されています。ついては、それら被害に遭わないためにも、所持品の管理に注意し、徒歩での移動の場合には周囲に十分警戒してください。

(2) 日本語補習授業校近辺での不審者による痴漢被害

4月下旬、正午頃補習授業校から児童を伴い徒歩で帰宅途中の女性保護者が、身なりのよくない不審な男から路上で話しかけられ、身体を触られるなどされたとの報告がありました。こうした危険に対しては、予防が第一です。普段から目立つ服装は控え、道を歩く時には常に周囲を警戒し、状況によっては回り道や近くの人に同行を頼むなど、被害を未然に防ぐよう心がけてください。

4 その他

「外務省海外旅行登録「たびレジ」の登録の簡素化」について

「たびレジ」は、海外旅行や海外出張される方が、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などを手軽に受け取れるシステムとして、2014年7月に開始されたサービスです。

外務省では、「たびレジ」をより手軽にご利用頂くために、本年5月1日より「日本国旅券番号」、「姓名（漢字）」、「宿泊先」及び「目的地」の各項目について入力を不要とし簡素化しました。

「たびレジ」については、外務省海外安全ホームページのトップページにバナーを設置していますので、海外旅行、出張等の海外渡航の際にご利用ください。

以 上